

対東ティモール支援
平成25年度 日本NGO連携無償資金協力
「山間部農民の生計向上事業（2年次）」
及び
「エルメラ県およびリキサ県におけるコーヒーの生産性向上事業」
合同署名式

平成25年8月28日

1 8月28日、東ティモール農業・水産省において、東ティモールにおける日本NGO連携無償資金協力である「山間部農民の生計向上事業（2年次）」（パルシック）及び「エルメラ県およびリキサ県におけるコーヒーの生産性向上事業」（ピース・ウィンズ・ジャパン）に関し、日本大使館と実施日本NGOとの間で署名が行われました。署名は、マルコス・ダ・クルース農業・水産副大臣の立ち会いの下、日本大使館川崎敏秀臨時代理大使とパルシック高橋茂人現地代表、またピース・ウィンズ・ジャパン大石雅美東ティモール事業本部事業統括との間で行われました。

2 パルシックが実施する「山間部農民の生計向上事業（2年次）」では、バイオマス・エネルギー・プラントの導入を通じたエルメラ県マウベシ準県の農民の生活向上のための事業に23万181ドルを限度とする支援を行います。

3 ピース・ウィンズ・ジャパンが実施する「エルメラ県およびリキサ県におけるコーヒーの生産性向上事業」では、東ティモールの輸出の90%以上を占めるコーヒーの生産性向上のため、エルメラ県及びリキサ県において生産性の落ちたコーヒーの古木を新しい苗木に植え替えるとともに、コーヒー生産技術の技術移転を行うため、17万214ドルを限度とする支援を行います。

4 日本政府は、東ティモールの農業振興及び村落開発を優先分野の一つとして継続的に支援しており、今回の協力もその一環として行われるものです。こうした日本NGOとの連携により、農民の生活向上及び農産物の生産性向上につながり、東ティモールの国づくりに寄与することが期待されます。

